

製品安全データシート

1.化学物質等及び会社情報

1-1 製品の特定

化学物質等の名称 : トーヨークリーンカップー 180m

製品分類 : その他のケミカル品

主な用途 : 銅管口ウ付け作業時の酸化防止剤

2.会社情報

会社名 : 株式会社 東洋溶材

住所 : 東京都板橋区南町23-14

担当部門 : 技術部

電話番号 : 03(3974)1731

緊急連絡先 : 株式会社 東洋溶材

作成者 : 村本 克巳

制定日 : 2002年 4月 1日

担当者 : 村本 克巳

FAX番号 : 03(3974)1777

電話番号 : 03(3974)1731

e-mail : <http://toyo-yozai.jp>

改定日 : 2004年 9月16日

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量wt%	CAS	化審法	安衛法	PRTR法	毒劇物法
石油系炭化水素	30以下	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
ジイソプロピルエーテル(IPE)	50以下	108-20-3	2-362	47	非該当	非該当
噴射剤	20以下	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

化審法 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報告示整理番号

安衛法 労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

PRTR法 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善、促進に関する法律
(PRTR法)対象化学物質の政令番号

毒劇物法 毒物及び劇物取締法の劇物指定物質

4.危険有害性の要約

最も重要な危険有害性及び影響

分類の名称：高圧ガス、可燃性ガス、引火性液体

有害性の要約：吸入・飲用不可。本品の有害性は主に、石油系炭化水素、ジイソプロピルエーテル、噴射剤に起因する。

蒸気を吸引すると頭痛、目眩を起こし高濃度の時は麻酔作用がある。継続的又は、繰り返しの接触で粘膜への刺激、目眩、頭痛などを起こす。噴射剤についても麻酔作用を示す。

目への接触：刺激性あり

皮膚への接触：軽度の刺激性あり

誤飲の場合：急性毒性あり。飲用不可

環境への影響：河川・湖沼等に多量の原液が排出された場合、環境影響を及ぼす可能性がある。

有害危険性：噴射剤の引火点は - 90 であり非常に引火しやすい。又、内容液は揮発性液体で引火しやすく、又蒸気は空気より重い爆発性混合ガスを作りやすい。蒸気は空気より重い為低い所に滞留する。

5.応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で少なくとも15分間以上洗眼する。

洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹼を使って洗い流す。

刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合：多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気のところへ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。

呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し無理に吐き出させないで、直ちに医師の診断を受ける。

意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

6.火災時の措置

使用可能な消火器：水 [] 炭酸ガス [] 泡 [] 粉末 []
乾燥砂 [] その他 []

消火方法：可燃性のあるものを周囲から取り除く。

消火作業は風上から行う。

大規模な火災には、水又は消火剤を使用する。

消火者の保護：適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。

7.漏出時の措置

漏出付近から着火源や可燃性のものを速やかに取り除く。

適切な消火器具を準備すること。

適切な保護具を着用する（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡、保護前掛け等）。

少量の場合：おがくず、土砂、紙などを用いて吸収させ、空容器に回収する。

その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。

多量の場合：土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。

その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。

室内で漏洩した場合は、窓、ドアをあけて十分に換気を行う。

河川や一般排水溝等に排出しない様に注意する。

廃棄物は関連法規に基づいて処理する。

8.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

換気の良い場所で使用し容器は使用毎に密栓する。

ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つ様に努める。

発生させたミストを吸い込まない様にする。

取扱い時は適切な保護具を着用する。

取扱い後は、うがい、洗眼を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。

他薬剤と混合させないこと。

付近に着火源となるもの（火気、スパーク、高温物）の使用を避ける。

保管上の注意

使用後は必ずキャップをすること。

高温多湿下での保管を避ける。

凍結の恐れのある場所での保管を避ける。

廃棄の際には中身を使い切ってから火気のない戸外で噴射音がなくなるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから処分する。

高温体との接触を避ける。

高温にすると破裂の危険性がある為、直射日光の当たる場所や、火気等の近くなど 40 以上となる所に置かないこと。

子供の手の届かない所に保管すること。

9.曝露防止及び保護措置

設備対策：換気設備（取扱いは換気のよい場所で）

保護具

目の保護具：側板付普通眼鏡型、ゴーグル型を使用する

呼吸保護具：保護マスク（有機ガス用マスク）を使用する。

皮膚の保護具：ゴム手袋（溶剤用）、保護前掛けを着用する。半袖の作業着は避ける。

10.物理的及び化学的性質

外 観：無色透明体 臭 気：エーテル臭 発火点：443 (IPE)
 沸 点：68.4 (IPE) 比 重：0.77(20) 融 点：-85.5 (IPE)
 水への溶解度：水に不溶（但し IPE として、常温で1%水を溶解する。）

11.安定性及び反応性

引火点：-28.0 爆発限界：(下限)1.4vol% (上限)21.0vol%(IPE)
 可燃性：あり 発火性：なし
 酸化性：なし 自己反応性・爆発性：なし
 安定性：常温において安定 反 応 性：強酸化剤との接触を避ける
 その他の危険性情報：有用な情報なし

12.有害性情報

組成物の有害性及び暴露濃度基準

成分名	管理濃度	ACGIH(TLV-C)	IARC	その他の有害性
石油系炭化水素	設定されていない	設定されていない	情報なし	情報なし
ジイソプロピルエーテル	設定されていない	250ppm 1,050mg/・	情報なし	情報なし
噴 射 剤	設定されていない	1,800mg/・	情報なし	情報なし

[ジイソプロピルエーテル]
 [IPE]

皮膚腐蝕性：有用な情報なし

刺激性(皮膚、眼)：皮膚に対して弱い刺激性あり。

眼に対して刺激性あり。

急毒性：(LD50)：ラビット 経口 5,000～6,500mg/kg

ヒト 吸入 800ppm・5分

マウス 腹腔 812mg/kg

亜急性毒性：蒸気は麻酔作用があり、軽い刺激作用がある。

低い濃度では平衡感覚障害を起こし、高い濃度では、粘膜（眼、皮膚、鼻、咽喉）の炎症、咳、興奮、血圧低下状態が起こり、さらに重症の場合は意識喪失、呼吸停止にいたる。ヒトは300ppmで不快を感じるが、大部分の人が眼、鼻の刺激を感じる濃度は800ppmであるという。

変異原性：陰性

[石油計炭化水素]

皮膚腐蝕性：有用な情報なし

刺激性(皮膚,眼)：繰り返し接触させた場合炎症を生じる可能性がある。眼に接触させた場合刺激が残る可能性がある。

急性毒性(LD₅₀)：マウス 経口 21.6g/kg以上(27週間)

[噴射剤]

皮膚腐蝕性：有用な情報なし

刺激性(皮膚、眼)：皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。
眼 粘膜等を刺激する。

急性毒性：10,000ppm/短期曝露何ら症状もなし。
100,000ppm/短期曝露数分吸入後に目眩。

その他の：若干の麻醉性あり。

13.環境影響情報ジイソプロピルエーテル：魚毒性 LC₅₀ (96Hr.) 92mg/L (ウグイ)

石油系炭化水素：現在の所、有用な情報なし

噴射剤：現在の所、有用な情報なし

14.廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。

排水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

必ず中身を使い切り、中身のない事を確認して廃棄する。

15.輸送上の注意

国連分類：(クラス2) 高圧ガス

国連番号：1950

陸上輸送：取扱い及び保管上の注意の項に従う。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送：航空法に定めるところに従う。

注意事項：運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み荷崩れの防止を完全に行う。

16.適用法令

消 防 法：消防法危険物 第4類第1石油類(非水溶性液体)

労働安全衛生法：施行令別表1 四．引火性の物

第57条の2第1項(通知対象物質)イソプロピルエーテル 50wt.%以下

毒物及び劇物取締法：該当せず

P R T R 法：該当せず
船 舶 安 全 法：危険物（高压ガス）
航 空 法：高压ガス

17.その他の情報 引用文献等

製品安全データシート作成指針改定版	「日本オートケミカル工業会」 「日本化学工業協会」
溶剤ハンドブック	「講談社」
13197の化学商品	「化学工業日報社」
化学物質等法規制便覧	「化学工業日報社」

* 注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものです。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処理を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

したがって、本データそのものは、安全の保証書ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。